

文化財専門職員の配置を

答 今後検討してまいります

文化財専門職員の配置が必要では

問 町の未来展望を考えると、大規模開発も増え、文化財関係の仕事も増えてくると思います。文化財の専門職員の配置について伺います。

教育長

文化庁による令和2年の報告によると、埋蔵文化財専門職員の基準には、主に発掘調査の実務経験数、考古学などに関する論文の執筆件数などが挙げられています。生涯学習課文化係長がこの条件を満たしており、埋蔵文化財の専門職として配置されているところです。なお、今後は国際航空物流拠



島地区から出土した関東地方最大規模の土器群

文化財とその保存活用は

問 町が所有する文化財について、最近5か年間の町外博物館などへの貸し出しはありましたか。

教育長

島地区の埴台遺跡から出土した県指定有形文化財の再葬墓出土土器や柏熊地区の柏熊1号墳から出土した埴輪など、県内外の博物館などからの要望に応じて

高坂 恭子 議員

所要時間 38分



貸し出ししています。

問 博物館への貸し出しが多いようですが、どのような条件を満たした場合貸し出していますか。

生涯学習課長

条件として、文化財を適切な状態で保管・展示ができ警備体制、防火体制などが整備されていることを条件としています。

問 博物館が行う展示会への貸し出しなどは、町の文化財が多くの人に触れるよい機会です。町民でありながら目にしていないことがたくさんあります。何らかの方法で町民にも伝えてください。

生涯学習課長

今後も積極的に貸し出しを行うとともに、ホームページで町外展示のお知らせをしたいと考えています。

問 スーパーセイミヤの建設の際に出土した丸木舟の保存、保管状況は。保存処理をして展示する予定はありますか。

生涯学習課長

専用の水槽を設置し、空気に触れないよう保存・保管しています。残り具合もよく、貴重なものですが、保存処理や展示には多額の費用がかかることや6メートルを超えるため展示場所の確保など、いくつかの課題があることから、現段階では困難と考えます。

問 保存している資料、遺物等、経年劣化してしまつと、再生が不可能になってしまいます。取り返しのつかない自治体もあると聞きました。水につかっている丸木舟、どうにか再生して、劣化しないうちに保存も考えていただきたいと思います。

教育長

高坂議員の思いを十分に受け止めさせていただき、補助金など使えるものがあれば、そのタイミングもあるかと思いますが、今の段階ではちよつと難しいと思います。しかし、検討は続けていきたいと思っています。



滅菌処理をして水槽に保管中の丸木舟

効率性と的確性を担保したインフラ政策を

答 政策間連携を図ります

インフラ整備の今後と要望書への対応は

問

インフラ整備に関し、成田空港機能強化による定住や往来人口の増加を見据えた対策を立てなければなりません。道路について今後は直線化、拡幅ということも想定して動いていかなければならないと考えます。河川については、栗山川の中上流部の越水を防止するためにも、河川部の河川断面面積の確保も必要で、加速度的にやっていくべきで、町長はもっと積極的に要望活動をすべきでは。

町長

今年度だけで9回に及ぶ道路に係る全国大会、あるいは各種大会などにも出席し、要望活動も行いました。また、国会議員、県議会議員の先生方にも直接要望活動をしています。県担当者とも協議し、しっかりと連携していきます。

町長

道路については、つながることによってその機能が最



開通した町道南玉造線

大限発揮できると考えます。

問

水道について、現実的に有収率70%を切っており全国平均の89・2%から大分乖離しています。令和14年までの更新計画を行っているとのことだが、どのタイミングで全国水準まで近づけようと考えているのか。

町長

水道管の老朽化により有収率が低下している状況を認識しており、特に漏水が多い箇所から更新していく予定です。

飯田 良一 議員

所要時間 61分



問 今後の人口減少に対し、対応を見越さなければいけないという答弁でしたが、水道料金、集排の利用料金について今後どのように考えているか。

町長

集落排水に加入している騒音移転の対象地域で移転が始まり、加入状況が減っている現状があります。今後は多角的に様々な面から検討し、持続可能な経営を目指します。

問

10月8日、町長宛てに緊急重要要望書が提出されていますが、対応はどうなっているか。

町長

グッドマンジャパンと共有し、町もグッドマンジャパンも全ての内容が重要であると認識しています。

問

今日に至るまでおよそ2か月ありました。この間、何かしら回答はされたか。

空港地域振興室長

いつ回答するということとは、そ

の場ではお話をしておりません。現時点で言えば回答していないこととなります。ただ、その内容を踏まえた対応はさせていただいている部分があることを、ご理解をいただきたいと思います。

問

一つひとつの丁寧な説明が重要であり、そこを町が疎かにしてはいけません。回答ができないところがあるならば、いつまでにと、回答をいち早くすべき。地権者と事業者の間を仲立すべき多古町の行政の誠意と見られては、これは将来的に地権者と事業者の間でずれは大きくなるばかりだと思いたいです。きっちり対応をしていただきたい。また、総じてインフラ整備から物流拠点整備に至るまで、成田財特法に基づく成田国際空港周辺地域整備計画というものが重要です。千葉県知事が関係市町村長の意見を聞いて作成するものですので、栗山川の増水対策。県道、国道、町道。上水道、集落排水。持続可能となるよう成田財特法に基づく成田国際空港周辺地域整備計画へ記載され実行されるよう働きかけを。

町長

成田財特法については、関係市町と連携し延長されるよう働きかけ、要望活動をしてまいります。